

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	し尿最終処分事業			会計	款	項目	大専	小専
				01	04	02	05	01
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	クリーンセンター			
施策	2-2	環境共生社会を目指す廃棄物循環型都市づくり		主管課長	糸井 正人			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内に居住するし尿収集世帯及び仮設トイレ利用者	意図	し尿汚泥を適正かつ衛生的に処理する。
事業内容	し尿処理過程から発生した脱水汚泥をクリーンセンターに運搬するなどの業務を委託する。			
事業開始から現在までの状況変化	発生した脱水汚泥は、クリーンセンター内で焼却処分することで対応してきたが、焼却施設のオーバーホール期間中は脱水汚泥の受け入れができなくなるため、別途処理業者へ委託して対応している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	最終処分されるし尿汚泥の搬出量	611.08	583.89	584.53	t	↓↓↓	
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 下水道の普及により浄化槽汚泥の搬入量は減少しているが、汚泥の濃度及び性状を確認しながら脱水処理時間を決定しているため、含水率に変動が起こり、脱水汚泥の搬入量に影響が生じている。		
事務事業のコスト		平成26年度	平成27年度	平成28年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		13,818,234	13,372,359	12,678,398				
事業費(b)(円)		10,363,234	9,607,359	9,245,898				
うち一般財源		10,363,234	9,607,359	9,245,898				
職員給与費(c)(円)		3,455,000	3,765,000	3,432,500				
人役・職員(人)		0.50	0.50	0.50				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	環境負荷への低減を図るため、最終処分量を削減する。	③取組の課題	し尿処理過程で含水率を下げる工夫を実施し最終処分量を削減する。
②今年度(H28)に実施した取組	最終処分量が減少するよう努めた。	④今後の改善計画	適正な維持管理により最終処分量を削減する。